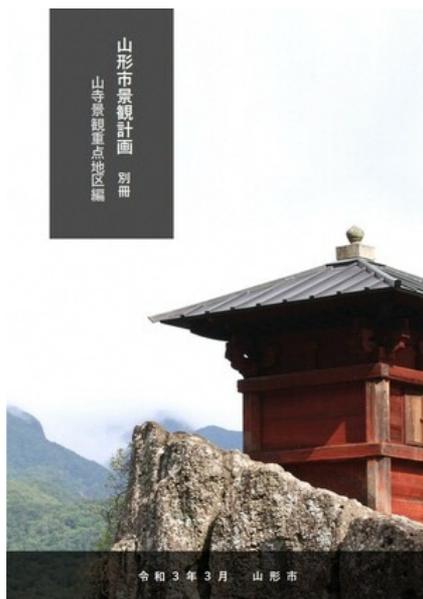


[情報を探す](#)[検索する](#)[検索の方法](#)現在の位置：[トップページ](#) > [市政情報](#) > [まちづくり](#) > [都市景観・屋外広告](#) > [景観の保全](#) > 山寺景観重点地区について[お気に入りに登録する](#)

山寺景観重点地区について

ページ番号1002145

更新日 令和6年7月2日



山形市では、観光地などの特徴ある景観を有する地区を「景観重点地区」に指定し、歴史や文化、賑わいの感じられる魅力ある景観まちづくりを進めており、令和3年3月に山寺地区を景観重点地区に指定しました。

景観重点地区指定の目的

国指定の名勝及び史跡である山寺では、高木の育つ険しい崖を縫って幾百段もの石段を登ると、絶壁の上に置かれた納経堂と開山堂、そして五大堂へと至ります。そこに、あたりを一望する絶景が開けます。この大パノラマをつくっているのは、自然に抱かれ自然と調和した人々の日々の生活空間です。

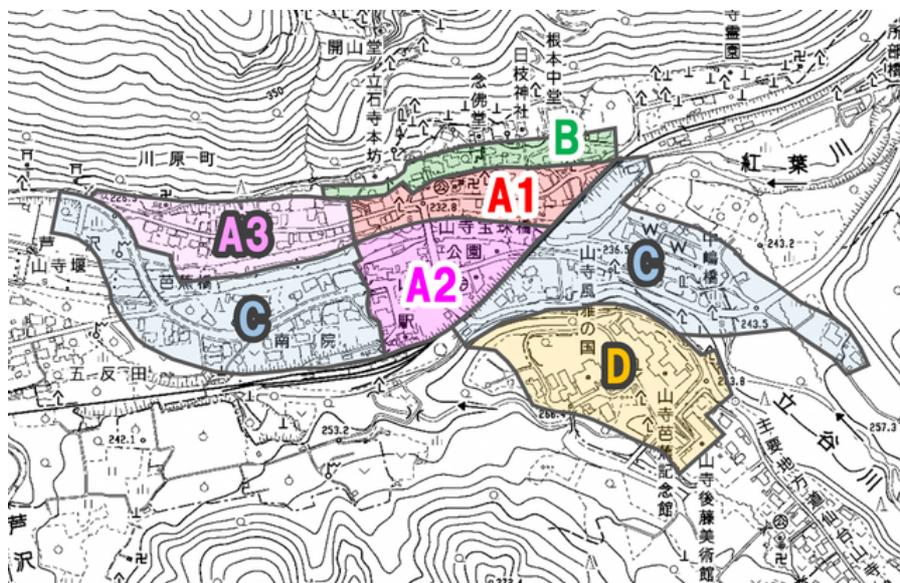
この眺望景を守るとともに、この生活空間の視覚環境を高め、門前に形成された市街地にこの佳境にふさわしい風格を加えて、末永く愛されるまちなみをつくることを目的とします。

景観重点地区の区域

山寺地区は、奥羽山系の山々に囲まれ、立谷川、紅葉川などが流れる自然豊かな地域です。その険阻な山腹に立石寺（山寺）が開かれ、周囲に市街地が発達しました。

その風光明媚な自然と格式ある歴史的な景観に相応しいまちを目指し、ここに住まう人や、ここを訪れる人にとって魅力あるまちなみの創出を図るため、立石寺五大堂などからの眺望範囲と川原町・南院地区を中心とした立石寺門前の市街地を対象とします。

なお、下図のエリア区分は、区域内の景観の現状や課題等を整理する際に見えてきたものです。



A1エリア	宝珠橋から登山口に至る門前通り沿いの商業地エリア
A2エリア	JR山寺駅から宝珠橋へ至る主要な参詣ルート沿道のエリア
A3エリア	下山口以西の参詣ルートにあたる住宅地エリア
Bエリア	門前通りと寺域に挟まれた住宅地エリア
Cエリア	県道沿いの住宅地エリア
Dエリア	大規模な施設が集まるエリア

景観形成の基本方針

自然を感じ、歴史が香る、居心地のいい景観まちづくり

山寺地区固有の多様な魅力を守り・生かしながら、日常の空間であり、おもてなしの場でもある集落として、人と人とのつながりのある居心地の良い場所づくり、みんなでつくる景観まちづくりを目指し、子や孫の世代に繋げる景観を保全・創出します。

